

〔西島芳一 いしじま ぶら〕

評論家。

明治四十年二月二十一日兵庫縣生れ、昭和

六十一年十月二十一日歿（一九七〇年）。昭和五年東京帝國大學法學部法

律學科卒。翌五年朝日新聞社入社、政治經濟部次長、調査部長を経て、

二十一年論説委員、二十九年論説主幹。四十三年神奈川新聞社取締役
主筆。

譯著書、ハンス・ケルゼン著『民主政治と獨裁政治』（譯、昭和七年

六月五日岩波書店）、『憲動員法の全貌（附・關係法令集）』（大渡

順、共著・朝日新聞社編、昭和十二年十一月二十日東京朝日新聞發行

所）、ハンス・ケルゼン著『デモクラシーの本質と價值』（譯、昭和

二十二年十月二十日岩波書店「岩波文庫」）、ミックラス・ウエーバー

著『職業としての政治』（譯、昭和二十七年一月八日岩波書店「岩波

文庫」）等。